



NPO法人

フィリアの会

Vol. 5

2015年4月 発行

旧: 碧海5市・岡崎市に身体障がい者入所施設をつくる会

新フィリア通信

発行元: NPO法人 フィリアの会
連絡先: 〒446-0027 愛知県安城市東明町10-12
Tel&Fax 0566-77-7331
編集担当: 西田, 細川

フィリア (友愛・ギリシア語)

人は一人では生きられません。人はみな、お互いに助け合い、生かし合っています。障がい者はこのことを忘れないように存在するのかもしれませんが。障がい者が元気なら、その地域が元気な証拠です。人の輪があるのです。私たちはこの地域の福祉に消えることのない希望の炎を灯すため活動しています。

理事長 あいさつ

生活介護事業所開設に向けて



フィリアの会 理事長 本田桂吾

今年は年賀状による年始のご挨拶を経費削減もあり控えさせていただきました。この紙面を持ってご挨拶とさせていただきます。

さて、今年度は待望の事務所開きが叶いそうです。ビレッジ開発さんの多大なるご支援のおかげです。心より感謝を申し上げます。

また、2016年度には生活介護事業所を開設できるように、順次準備をしていこうと思います。

今後ますます皆様のご協力が欠かせません。私たちの念願をかなえるため、私も精一杯努める所存です。理事さんたちと同様に、今年度もどうぞよろしく申し上げます。

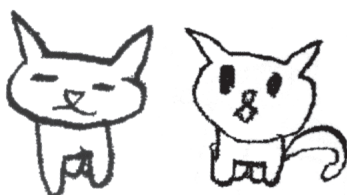
平成26年度寄付金報告

藤井めぐみ様、高田洋子様、鈴木様(デイドリーム)、くらし部会様、
イシハラカツシグ様、オオヤマクミコ様、デンソー様、内田けさよ様、ハナイレイコ様、
高橋絵美子様、竹内理様、本田明美様

一般寄付 (ハートフルフェスティバル、フィリアフェスティバル、サンクスフェスティバル、クリスマス交流会)
※順不同

寄付総額

406,288円



ご寄付いただき、
ありがとうございました。



生涯現役 臨終定年



フィリアの会 理事 福元 敏昭

私は福元と言います。昭和26年生まれの64才。デンソーを2011年に定年退職した際、ビレッジ開発の下村社長から「生涯現役、臨終定年、理想の施設を作ろう!」という言葉をかけてもらい、貸店舗・貸オフィス業のビレッジ開発に再就職しました。製造業から全く異業種の世界へ飛込んだのですが、「人を幸せにすること、社会に貢献することが企業の目的だ」という経営理念に惚れ、生涯現役で頑張っていくつもりです。

フィリアの会との出会いは、2012年にフィリアの前身である「身体障がい者入所施設をつくる会」の運営委員会に参加し、NPO法人化を提案した時からですからもう3年になります。

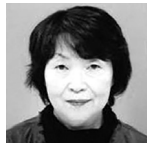
翌年の2012年4月からNPO設立認証申請活動を開始し、和田さんや石川さんの協力を得て、やっと2013年1月に県からの認証を受けて、その年の4月にNPO法人「フィリアの会」を設立する事ができました。

あれから2年、思ったように事業化が進まないのが実情ですが、やっと今年の7月事務所オープンの目処が立ち、更に2016年度「生活介護」開始に向けての一步を歩み出そうとしています。

0から1への距離は1から1000への距離より大きい。

好きな言葉です。最初の一步がなければただの願望で終わってしまいます。皆さん頑張りましょう!

ごきげんよう!



フィリアの会 理事 杉野森 旬子

私は、今年64歳を迎えた熟女です。割合元気で食欲もあります。

職を離れて約6年経ちますが、悠々自適…日々を大切に過ごしています。

熱中しやすい性格は変わっていませんが、何事も時間を気にせずゆっくり(じっくり)できるので、少し落ち着いたように思います。

本や音楽にも親しみ、著者の言葉や演奏に心が揺さぶられる瞬間も偶にあります。

こういう生活のお陰もあって、しばらく眠っていた意欲が動き出し、昨年から週に一度、専門学校で講師を勤めるようになりました。

生活が自由になると、いろいろな事が気になります。国の内外で起きている非道な行為。介護に関わる事件も後を絶ちません。さらに昨年から異常気象による災害。報道を聞く度に心が傷み、悴んできます。

今、一番望んでいることは、フィリアの館で、おいしいティーを飲みながら(勿論、手作りお菓子付)、みんなで つるむ? いや集うことです。そして、みんなでもっと勉強して、自信をもって生きていけるようになることです。病気や障害で苦しい生活を送っている人達のことをもっと知り、目をそらさないで生きていきたいです。

何か、エッセイのようになってしまいました。

よろしく願いいたしまーす

西三河版



春を待つ
祖父江 寿枝
水彩協会所属

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp
岡崎支局 千444-0863
岡崎市東明大寺町16-18
0564-22-1661 Fax25-1554
豊田支局 千471-0849
豊田市美山町3-34-34
0565-24-1010 Fax25-1118
安城通信局
0566-76-3355 Fax76-0900
西尾通信局
0563-56-3135 Fax56-3136
刈谷通信局
0566-21-0077 Fax26-0285
碧南通信局
0566-41-0468 Fax43-1047
豊橋総局
0532-52-7181 Fax54-4655

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0
Eメール
center@chunichi.

広告のお申し込み
広告局三河アドセ
岡崎 0564-23-
掲載写真を購7
最寄りの中戸

7.45 市
8.00 市
10.00

5

安心を求めて

安城市長選を前に

「お母さん、あまり無
理をしないで」。進行性
筋ジストロフィー患者
市東明町の本田桂吾さん
（三〇は深夜、寝返りを介
助してくれた母の恵美子
さん）この体調を気遣っ
た。

本田さんは、小学一年
で筋力が衰え始め、その
二年後から車いすで生活
するようになった。食
事、トイレ、入浴のほ
か、就寝時には床ずれを
防ぐため、二時間おきに
体位を変える寝返りの介
助が欠かせない。

障害者総合支援法に基
づく介護サービスで毎日
七時間、民間の介護事業
者からヘルパーの派遣を
受ける。だが、ヘルパー

「親亡き後も」施設を切望

障害者福祉



筋ジストロフィーの本田桂吾さん（左）を介護する母恵美子さん（右）は「親が亡くなった後も障害のある子どもが安心して生活できる施設を増やしてほしい」と願っている＝安城市東明町で

しかし、施設建設を市
に呼び掛けるため本田さ
んが障害者仲間らと結成
した市民団体「フイリア
の会」によると、市内で
は重度身体障害者が入
る。障害者は十人以上に上
る。安城市の障害者福祉計
画には、具体的な入所施
設建設の目標値は盛り込
まれていない。

恵美子さんは訴える。
「在宅介護は理想だけ
ど、親はほとんど年を取
っていき。親が亡くなっ
た後も、障害のある子ど
もが安心して暮らせる社
会になるために、施設を
増やしてほしい」

安城市長選の告示が二
十五日に迫った。工業と
農業が盛んな安城市は、
国から四十一年連続で交
付税を受けない「不交付
団体」。ただ、財政が豊
かでも、市民は生活の安
心を実感できているの
か。課題を探る。

2014年度 後期の 活動報告

10月
 4(水) 事務会議
 5(土) 福祉まつり
 11(土) 理事会
 18(土) 4コマ漫画打ち合わせ
 25(土) 安城サクスフェスティバル

11月
 1(土) 事務会議
 8(土) 理事会
 9(日) 立正佼成会寄付金贈呈式
 16(日) 市民交流センターまつり

12月
 6(土) 事務会議
 13(土) クリスマス交流会
 14(日) 4コマ漫画打ち合わせ
 24(水) 事務所の件

2015

1月
 10(土) 新年理事会
 24(土) 事務所見学
 31(土) 4コマ漫画打ち合わせ

2月
 7(土) 事務会議
 14(土) 理事会

3月
 7(土) 事務会議
 14(土) 理事会

2015年度 前期の 活動予定

4月
 4(土) 事務会議
 11(土) 年度総会

5月
 2(土) 事務会議
 9(土) 理事会

6月
 6(土) 事務会議
 13(土) 理事会

7月
 4(土) 事務会議
 5(日) デンソーハートフルまつり
 11(土) 理事会

8月
 1(土) 事務会議
 8(土) 理事会

9月
 5(土) 事務会議
 12(土) 第4回フィリアフェスティバル



2014年度総会



2014年度総会



第3回フィリアフェスティバル



デンソーハートフルまつり



安城サクスフェスティバル



福祉まつり



交流センターまつり



クリスマス会

事務所ができます!



ビレッジ開発さんの紹介で、安城市和泉町中根山に事務所を借りる運びとなりました。

家賃が月10万円で約40平米の部屋があり、車庫も含めると140平米ほどあります。周辺に車も何台か置けるスペースもあります。

改修が必要ですが、ここなら生活介護事業を始めることが出来る80平米も確保できます。

今年度の秋ぐらいに事務所開き、その一年後には生活介護をと考えています。

名前募集

生活介護事業を始めていくに当たり、施設の名称を募集します。募集資格は問いません。名称に選ばれた方には記念品を差し上げます。①名称、②氏名、③住所、④電話番号、⑤メールアドレスを書いて、右記へ提出してください。

名称例:生活介護事業所「あおぞら」、「ひかり」、「たいよう」、「すまいる」等

応募先

〒446-0027 安城市東明町10-12
Tel&Fax 0566-77-7331
mmx@katch.ne.jp

郵送、FAX、メール、いずれも本田宅へ。
7月末日まで。

🍴 でざーと 🍷 ござーる 本田桂吾

僕のひそかな楽しみは、食後のカップデザートに頼ることである。冷蔵庫には常に10個以上のプリンやヨーグルトがストックされている。このコーナーはその中で特に気に入りのデザートをご紹介します。

記念すべき1品目はヤクルトの「カップdeヤクルト」である。

ヤクルトを飲んだことがない日本人はほぼ皆無だろう。

僕は商品名を見て、あの甘酸っぱいやクルトの味を想像していたが、クリーミーでムースのような、これまでありそうでなかった新感覚のカップデザートだった。しかも乳酸菌も取れるのが嬉しい。2014年10月から期間限定で発売中。一食の価値有。

